

脈々 高蔵^{スピリッツ}魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「発展に伴いて試練を受く」

「慈・忠・忍」を校訓三則に掲げる。
この「忍」という文字を辞書で調べると、
「耐える」「我慢する」とある。

しかし、去年より今年、昨日より今日の成長を主義とする我が校では、「忍」とは、襲い来る苦難を自分に与えられた「試練」と受け止めることだと解する。さらに積極的に、それを自己成長の「好機^{チャンス}」とも捉える、これぞ、高蔵魂。

人は何時も順境にのみ立ち得べく筈なく、
寧ろ長き逆境を凌ぎし人ほど貴きを覚ゆ。

(「藪椿」12-11)